

2009年9月10日(木)

ロボットサービスイニシアチブ

ロボットサービスイニシアチブ (RSi) が  
ロボットサービスの立ち上げ支援を本格化

～Web サイト「ロボットおでかけマップ」を公開、見守りサービス・通信ライブラリ提供も～

ロボットサービスイニシアチブ(RSi, 代表: 内山 隆 株式会社富士通研究所顧問)は, ロボットサービスの立ち上げ支援を本格化します. ロボットサービスの立ち上げには, 幅広いアイデアの試行や, 産・官・学の様々な立場からの評価・議論が必要になります. そこで, RSi では, 活動ロードマップを作成して, これに基づき様々な活動を進めています (図3 参照).

具体的には, 本日より全国各地で活躍するサービスロボットの場所や稼働状況を誰でも確認できる Web サイト「ロボットおでかけマップ」を公開し, ロボットをつなぐだけで利用できる RSi 見守りサービスを, 今まで提供されていた防災・天気情報サービスに加えて提供します. さらに, この Web サイトにロボットを参加するためや, ロボットサービスアプリケーションを開発・利用するための RSi 通信ライブラリやサンプルプログラムを今秋中に順次提供していきます. また, ロボットサービスのアイデア実現を支援する「サービスコンテスト」も来年度を目処に開催する予定です. 将来は, 様々なロボットサービスの提供を目的とした RSi 仕様の共通サーバの立ち上げなども計画しています.

これら「ロボットおでかけマップ」や RSi 見守りサービス・RSi 通信ライブラリの技術的詳細については, 9月15日(火)から横浜市の横浜国立大学で開催される「第27回日本ロボット学会学術講演会」で紹介いたします. また, 11月25日(水)から開催される2009国際ロボット展では, これらの展示とデモンストラレーションを予定しています.

### ロボットおでかけマップ

今回公開する「ロボットおでかけマップ」は, ネットワークを介して全国各地のロボットの情報を収集し, 地図上にロボットの設置場所や稼働状況, ロボットから見た周囲の画像などの情報を表示する Web サイト (<http://robot-rsi.on.arena.ne.jp/>)です. 三菱重工業株式会社, 株式会社富士通研究所, 株式会社セック, 財団法人日本気象協会, 公立はこだて未来大学, 産業技術大学院大学のロボットやロボットサービスが稼働・稼働予定です. 一般のロボットファンは, ロボットに会いに行くための情報としてこのサイトを活用できます. また, 設置主体にとっては, サービスロボットによる集客力の向上に役立てることができます. また, ロボット開発者はこのサイトに自分のロボットやサービスを登録しアピールすることができます.

「ロボットおでかけマップ」(図1)は, これまで RSi が策定を進めてきた標準仕様 RSNP (Robot Service Network Protocol) を用いて構築されており, 様々な「ロボットサービス」の基盤として, 例えばロボットを通じたメッセージや広告の配信, ロボットの遠隔操作などに拡張できるしくみとしました. インターネット上でのセキュリティを確保しつつ, サーバからロボットへの即時通知や遠隔操作ができることも特徴で, サービスロボットに限らず, 産業用ロボット・機械の遠隔管理等にも活用可能です.

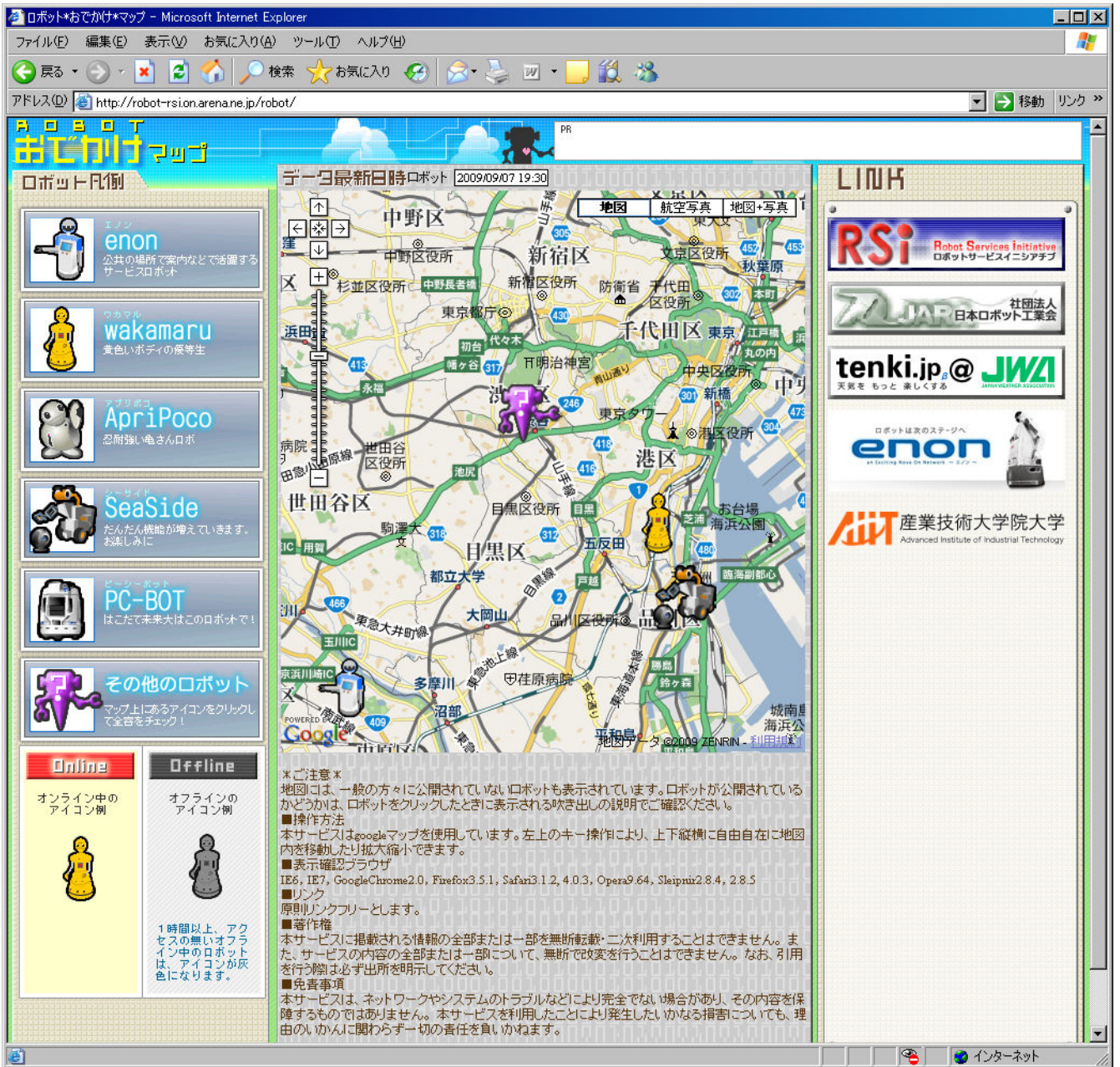


図 1：ロボットおでかけマップ スクリーンショット

## RSi 見守りサービスの提供

ロボットカメラを用いて見守りを実現するサービスを提供します(図 2)。ロボットカメラからの画像を連続的に取得することや、ロボットカメラの操作を行うことができます。さらに、複数台の見守りを同時に行うことも可能です。ロボットやカメラを後述の RSi 通信ライブラリを用いて接続することでこのサービスが利用できます。



図 2 : 見守りサービス スクリーンショット

### RSi 通信ライブラリとサンプルプログラムの提供

RSi では、「ロボットおでかけマップ」を中心に、今後様々な業種によるロボットサービス立ち上げを支援していく方針です。その一環として、「ロボットおでかけマップ」に各社のロボット等を登録し稼働状況の表示や、ロボットサービスアプリケーションを開発・利用するための RSi 通信ライブラリ(RSNP2.0 準拠)やサンプルプログラムを今秋中に順次提供していきます。さらに RSi 見守りサービスや、提供済みの防災・天気情報サービスを利用することができます。

なお、RSi 通信ライブラリを利用するためには、RSi への入会が必要です。

### 会員資格の拡充

ロボットサービスの立ち上げ支援の活動を促進するため、RSi では、これまで企業・研究機関等の法人・団体のみとしていた会員資格を見直し、新たに大学等の研究者を対象とした個人会員を設けます。これにより、個人会員も法人・団体と同様に、「ロボットおでかけマップ」へのロボット登録、ソフトウェアライブラリ・サンプルプログラムの利用、仕様策定や実証実験への参画が可能になります。

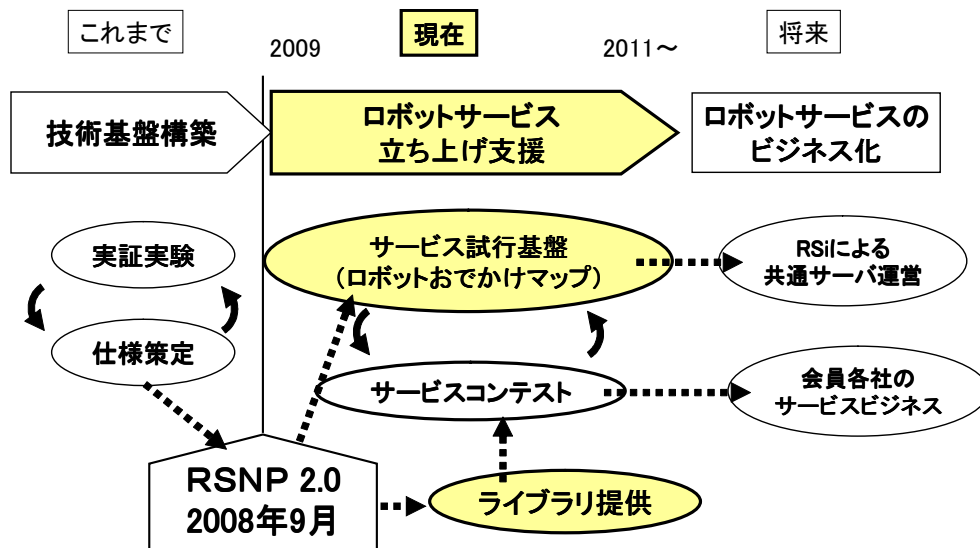


図 3 : RSi 活動ロードマップ

## 技術的詳細のご紹介

RSiでは、第27回日本ロボット学会学術講演会のオーガナイズドセッション「インターネットとロボットサービス」において、ロボットおでかけマップやソフトウェアライブラリの詳細、様々なアプリケーションの開発事例を紹介します。

日時： 2009年9月15日（火）15:30～17:30  
会場： 横浜国立大学（神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5）  
セッション： 1J3「インターネットとロボットサービス」

## ロボットサービスイニシアチブ(RSi)について

RSi(<http://www.robotservices.org>)は、ロボットによる通信ネットワークを活用した魅力あるサービス(ロボットサービス)を簡単かつ便利に利用できる社会を目指し、相互運用性のあるロボットサービスについて関連団体と協力・連携しながら仕様の作成・公開、実証実験、普及促進を行うことを目的に設立された団体です。

現在、三菱重工業株式会社、富士通株式会社、株式会社富士通研究所、株式会社東芝、株式会社ビジネスデザイン研究所、財団法人日本気象協会、日本電気通信システム株式会社、株式会社セック、株式会社ライトウェア、産業技術大学院大学、公立ほこだて未来大学の11団体が会員となっています。

## 本件に関する問い合わせ先

RSi 事務局

担当： 濱田（日本ロボット工業会内）

E-mail： [tech@jara.jp](mailto:tech@jara.jp)

電話： 03-3434-2919

<http://www.robotservices.org>

以上